



招堤中学校だより 4月

VOL. 1

4月8日(月)発行

生徒数423名

1. 第52回入学式をおこないました。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

桜花満開の好季節です。4月5日(金)に入学式を実施し、希望に満ちた150名の新1年生を迎えることができました。子どもたちは、新しい学校での学習や生活に希望といくらかの不安を抱いて、入学式を迎えたことと思います。私たち教職員は、そのような子どもたちの思いを受け止め、子どもたちにとって、毎日が楽しいと実感できる学校となるよう、教育活動を進めてまいります。

さて、私こと、この度、森 隆裕 校長先生の後を受け、本校の校長として着任しました。

前校長同様、温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。(校長 吉本 賢治)

2. 他に、新しく9名の教職員が着任しました。

4月8日(月)の始業式において、子どもたちに新しく招堤中学校に着任した教職員を紹介しました。これから、子どもたちや保護者の皆さん、地域の皆さんとともに、大切な時間を過ごすことになります。子どもたちが笑顔で充実した毎日を過ごせるように取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3. 担任の先生から学級通信が発行されています。

新年度が始まり、担任の先生が学級通信で子どもたちへの思いを発信しています。その一部をご紹介します。

○「招堤中学校は、しんせつな先生が集まった学校です。小学校とちがって、いろいろな先生がみんなに授業をしてくれます。いろんな人と出会い、たくさん話してくださいね。」(1年生の学級通信から)

○「小学校や昨年同じクラスなどで多少なりとも知っている人もいれば、かわりが全くの初めての人もいます。『どんな人だろう?』『周りから聞いているけど…』など、新しい環境では誰もが不安を覚えます。緊張もします。だからこそ新しい環境でたくさんの人と色々な話をしていこう!」(2年生の学級通信から)

○「今年度行われる行事などすべてに『最後』とつきます。3年生になったらもっと頑張りたい、もっとこうしたい。と思っている人がたくさんいるでしょう。今、抱えている気持ちを大切にして1日1日を過ごしていきましょう。」(3年生の学級通信から)

子どもたちに“出会い”や“対話”、“最後”などを大切にして欲しいといった担任の先生思いが伝わってきます。

茶道に由来する日本のことわざに「一期一会」という言葉があります。「一期一会」とは、「人との出会いや物事を行う機会は、生涯で一度きりであり、二度と同じ機会は訪れない、だから一度きりの機会を大切にせよ」という意味で用いられるそうです。

是非、このことわざが意味するように、今の出会いを大切にして、これまでの関係性からくる先入観にとらわれることなく、新しい見方や考え方もう一度友達やクラスを見直し、新しい発見や経験をクラスの仲間とたくさんして欲しいと思います。そして、新しい学年、新しいクラス、新しい担任の先生のもと、互いに絆を深め、招堤中学校1番の思い出に残る学年、クラスになることを願っています。